

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型にふさわしい理念を掲げ管理者及び職員は常に理念を共有し業務に反映させている。	開設時に理事長と管理者とで検討し、事業所独自の理念を作成しました。相談室や職員用トイレ、事務室など事業所内の目に付く所に掲示をする他、忘年会時に全員で理念を復唱するなどして職員に理念を浸透させています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日の買い物では近所のスーパーを利用し日常的に交流している。又、回覧板をまわして貰ったりしている。地元の園児や小学生の訪問や中学生の職場体験。	事業所にも回覧版をまわしてもらったり、近隣の小学校で行われた子ども祭りに参加するなど、地域との交流を行っています。また、地域のお祭りにも参加したり、事業所の広報を地域のコンビニエンスストアに張らせてもらうなどの取り組みも行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議、お祭りに参加させてもらい、地域の方から理解して頂いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの実践状況・評価・取り組み状況など報告し、意見など頂いている。話し合われたことは文章にし玄関に提示し、ご家族様、職員が見られる様になっている。次第と報告は各市役所にも提出している。	地域住民や市の担当者、他法人の特別養護老人ホーム施設長などに参加していただき、運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に開催しており、事業所からの報告に加え、参加者から寄せられた意見や要望は参加者の協力を得ながら、計画を立てサービスの向上に活かされています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者が日頃から担当者と連絡を取りあっている。又、事故発生時などにもその都度速やかに報告を行っている。	市の担当者には運営推進会議にも参加していただいております。事業所で作成する広報も市の担当者と市内の地域包括支援センターに持参し、事業所の状況の報告を行うなどして、協力関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は夜のみとしている。又、年に1回身体拘束の内部研修を行い職員全員が理解し業務に当たっている。	ホームとして身体拘束は行わない方針のもと、玄関の施錠についても夜間のみとしており、日頃の職員の言葉遣いについても管理者が指導を行う等、拘束しないケアが徹底されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見見過されることがないよう注意を払い、防止に努めている	年に1回内部研修を行い職員全員理解し業務に当たっている。又、業務の中でも職員同士声を掛け合い注意しあっている。	包括支援センター職員に来て頂き、事業所で虐待防止に関する研修を行い、職員の理解を深めています。また日常の中で、声掛け等が精神的な虐待になっていないか職員相互に注意を払い、少しでも気になる場面があれば、即検討するようにされています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者より資料を提示され、学ぶ機会が設けられていた。職員個々でも学習を行い必要に応じてユニット会議で話し合いを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族様には分かり易く丁寧な説明を心がけており理解と納得を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族の集いに参加して頂き意見を促している。又、家族から意見要望があった際には全職員で検討し寄りよい解決に取り組んでいる。	日々の面会時、2ヶ月に1度の運営推進会議、サービス担当者会議の他、「家族の集い」として家族会を行っており多くの意見をいただけるようにしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行われるユニット会議、リーダー会議に管理者が参加、職員の意見や提案を聞ける姿勢にある。	毎月のユニット会議、リーダー会議にて職員との意見交換の場を設けているほか、日頃の業務の中でも意見や提案を確認するようにしており、その内容を運営に反映できるよう努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者や管理者は職員一人ひとりの勤務状況、態度の把握に努めており向上心を持って働ける環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者や管理者は職員に対し必要を思われる研修に参加するよう促している。その内容は復命書に記し、全職員に回覧している。定期的に内部研修(消防士・看護師)を行い個々のスキルアップにつなげている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の勉強会への参加、体験研修等の機会を作り意見交換を行いサービスの向上に取り組んでいる。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	全職員、ご本人様と関わる時間を多く作り信頼関係を築けるよう努めている。色々な訴えに耳を傾けたり、日々何を求めておられるのかを探り安心して生活出来るよう支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時やカンファレンスに参加して頂きご家族様が話しやすい雰囲気作りを心掛け、要望や思いを聞く場を設けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様の状況をお聞きし現状把握を行なっている。ご本人様、ご家族様、担当職員、ケアマネージャと相談し最も良い支援が出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にする者同士、支え合える関係作りに努めている。又人生の先輩として尊敬し、学ばせて頂く姿勢を忘れないよう努めている。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時ご家族様とご本人様がゆっくり過ごせる様配慮している。面会時や月一回のお手紙で日々の様子をお伝えしご家族様と情報を共有する事で共に支えあう関係に努めている。	年に4回広報を作成し送付しているほか、担当者が毎月お手紙を作成し送り、ご家族と情報を共有できるようにしています。また、面会時などは話を伺い、サービス担当者会議にはご家族にも参加していただけるようにし、協力関係を構築しています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブや外出の計画を立てる際ご本人様やご家族様に慣れ親しんだ場所をお聞きし出掛けている。親戚・友人との関係が途絶えず面会の方が多く来て頂けるような雰囲気作りを行っている。	ご近所の方や友人に面会に来て頂いたり、自宅に泊まり田植えの手伝いを行ったり、ご家族の協力を得てなじみの美容室や温泉旅行へ出かけるなど、馴染みの関係を継続できるよう支援しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り話題を提供するなど利用者同士交流できるよう努めている。両ユニット間やデイサービス間の行き来もし良い関係が築けるように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された方のところへ訪問し、様子をお聞きしている。また、ご本人様、ご家族様から相談があれば出来る限り応じるように努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様お一人おひとりと日々接する中で希望や意向、思いをくみ取るように努めている。又、意思の疎通が難しい方にはご家族様から話を伺い、ご本人様の思いに添えるよう努めている。	日常のやりとりでご利用者から頂いた要望についてはできるだけすぐに対応するようにしています。また、日々の生活の中で確認したご利用者の意向や面会の際などにご家族から聞いたことは生活記録に記入し、職員間で情報を共有し、ご利用者の支援ができるようにしています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴や馴染みの暮らし方など日常の会話の中で確認、把握に努め思いや希望をくみ取るようにしている。又、意思の疎通が難しい方にはご家族様からも話を伺い、ご本人様の思いに添えるよう努めている。	センター方式の書式を活用し、個々のご利用者のこれまでの暮らしの情報を整理しています。また、日々のやりとりの中で確認した新たな情報についても年に1度、定期的に更新するようにしています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出勤時に必ず、入居者様全員の生活記録に目を通し、日々の様子や心身状態を把握し業務にあたっている。又、職員間での申し送りも大切にし情報を共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスには出来る限りご家族様に参加して頂き、意見や要望を伺っている。又、面会時にも入居者様の日々の様子をお伝えし、意見や要望などを伺う機会を設けている。これからを踏まえ1年に1度介護計画の見直しを行っている。又、状態に変化が生じた場合はその都度現状にあった介護計画を立て直している。	サービス担当者会議の出席が困難なご家族へも、介護計画の立案に加わっていただくよう、来訪時に介護計画に関する意見や要望を伺うよう工夫されています。また、サービス担当者会議を開催し、見直しを行うのみならず、毎日の経過記録の記入による評価と毎月のモニタリングにより、状態やニーズと計画にギャップが生じる場合は即座に見直しが行われています。	調査時点でサービス担当者会議の実施が予定より遅れている方もいましたので、チェック体制を検討されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録にはサービス内容を記録し、日々実践しているか確認できるようにしている。又、日々の様子やご本人様の言葉や表情から感じた事、職員の思い気付き等も記載している。毎月末のモニタリングではそれらを参考にしながら介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様が近隣におられないご高齢である等特別な事情がある場合受診や理美容の利用、クリーニングなど、職員で対応、代行を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の小学校から行事のお誘いを頂き参加している。月1回程度でボランティアの訪問があり歌や踊りの披露に楽しまれている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後もかかりつけ医に受診お願いしている。又、ない場合はご希望に沿った病院を紹介している。日々の様子等、ご家族様を介し医師に伝えているが、必要時に応じて手紙を書き情報交換している。	往診にも来て頂いているほか、ご本人、ご家族の希望する医療機関にて受診してもらい、必要時には事業所からの手紙を書き、付き添うご家族を介して医師との情報交換が行われています。また、ご家族の付き添いができない場合は職員が受診支援を行っています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回は看護師が勤務している為都度入居者様の健康状態を相談的的確な支持をもらい対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、早期退院に向けて管理者が病院へ行き、話し合いや、情報交換を行っている。又、退院後の過ごし方など医師に相談しアドバイスを頂き本人、家族にも安心して頂けるよう配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化してきた場合ご家族様と相談しながら対応方針を考えている。グループホームで出来る事を伝える事で納得して頂いている。終末期については今の段階では対応を考えていない。その旨を家族にもお話しして納得をしていただいている。	契約時にグループホームとしてできることをご説明し、同意を得ており、医療的な支援が必要な場合は特養や病院に移っていただいています。	ホームとしての重度化対応の指針を作成し、文章で明示されることを期待します。
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年1回AED講習、感染症の内部研修を行い、職員、看護師、ご利用者様の情報を共有し話し合い対応している。	業者から来て頂きAEDの使用講習を事業所で行っているほか、看護師による感染症の研修も事業所内で行われています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中、夜間の想定で利用者を含め災害の訓練を行っている。年2回消防署立会いの下避難訓練を行っている。しかし、現在地域の方からは参加して頂けない為、今後も協力して行く。	事業所では年に2回、日中と夜間の火災を想定した避難訓練を行っており、非常用の食品や水も確保されています。	避難訓練には地域の方へも参加をお願いし、適切に避難できる体制を整えられることを期待します。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	契約時にプライベートの取り組みに関する説明をし同意を頂いているほか、現場で利用者様に対しての声掛けや対応について職員同士で注意し合う等気を付けている。	契約時にプライバシーの取り組みに関する説明をし同意を頂いているほか、現場でご利用者に対する職員の言葉遣いにも気が付いたらすぐに指導するなどの対応も行っています。	広報への写真の掲載の同意書を用意し、全てのご利用者から頂くことを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話での仕草表情から思いを汲み取り、出来る限り要望に応じられるよう努めている。又、ご利用者様の希望を自己決定できるように声掛けにも工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限りその日の状態で利用者様一人ひとりのペースに合わせて思い思い過ごせるように配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝、利用者様にはお好きな服を選んで着て頂いたり、鏡の前にお誘いする事で身だしなみを整えて頂いている。馴染みの美容室へもご家族様からお連れして頂けるようお話ししている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週に一度希望献立を設けご利用者の希望に添えるようにしている。外出の際にラーメンやお寿司等を召し上がって頂いたり、出前を取る機会を設け少しでも食事を楽しんで頂けるよう努めている。季節に合った食事で季節を感じて頂けるよう努めている。準備、盛付け、片付け等ご利用者様の状態に合わせて職員と行っている。	週に1度、希望献立の日を設け、ご利用者の希望を聞く機会を作ることで、ご利用者の希望に添えるよう配慮されています。また、食事の準備、後片付けも職員と出来る範囲でご利用者が共同で行われています。事業所の畑で野菜の収穫と一緒に楽しんだり、外食や出前を取る機会も設け、食事を楽しんでいただけるように努めています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者お一人おひとりの体調等に合わせて食事と量の提供をしている。献立を作る際も一日30品目以上の食材を取り入れ栄養のバランスに努めている。水分摂取量が少ない方には好まれる飲物を勧めたり果物や寒天ゼリー等工夫して取って頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後におひとりお一人に合った口腔ケアの声掛けや援助を行っている。又、週2回は義歯洗浄を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	失禁軽減の為個々の排泄パターンを把握しトイレ補助を行っている。夜間はリハビリパンツを使用し日中は出来る限り布パンツを使用して頂くよう努めている。	排泄パターンの把握するまでは排泄チェックを行い、オムツの使用を減らせるような取り組みや、日中は出来る限り布パンツを使用させて頂くようにしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	お一人おひとりの体調管理に努め細目に水分補給をして頂いたり、食事に食物繊維質の多いものを取り入れたり、毎朝体操にお誘いし運動を促している又、排便の状況を記録し、排便のない日が続く事があれば、ご家族様や医師に相談し下剤を処方して頂くこともある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	その日のご利用者様の体調、タイミングに配慮しお誘いしている。また入浴日以外でも希望があれば入って頂いている。又、菖蒲湯、ゆず湯に入浴して頂き季節感を感じながら、気持ち良く入浴出来る様に工夫をしている。	入浴のスケジュールは作成するものの、気候やイベント、ご利用者の希望や気持ちに応じた柔軟な対応が図られています。また、入浴を嫌がる方への声かけの仕方やタイミングが職員間で共有されています。菖蒲湯やゆず湯など季節に応じた湯も楽しんでいただいています。	調査時点で入浴を嫌がるご利用者について、ケース記録に記入が無いところもありましたので、職員間で記録の方法について検討されることを期待します。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	様子を見て必要なら休息や昼寝等をしてもらっている。夜間なかなか入眠されない方には安心して休まれるような声掛け、温かい飲み物を飲んで頂く事で、精神的にも落ち着かせる環境作りの対応を心掛けている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	おひとりお一人が使用している薬を充分理解した上で副作用や体調の変化を見逃さないよう努めている。服薬の際確実に飲み込んで頂けるまで確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	おひとりお一人の楽しみや役割が見出せるよう会話や生活歴から探している。職員全員で喜んでもらえるよう日々努めている。ボランティア、外出等で気分転換の支援を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	事前に外出プランを立てたり天気の良い日には散歩やドライブにお誘いしている。外出の希望があれば可能な限り出掛けている。毎日の食材の買出しにお誘いし外の空気に触れる機会を作っている。	天気の良い日は散歩をすることや、買い物などのドライブをするなど、可能な限り戸外に出られるよう支援されています。また、季節に応じたお花見、紅葉見学、いちご狩りなどの外出行事を企画し、ご利用者に外出を楽しんでもらっています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人用のお小遣いは事務所の金庫で管理させて頂いている。またご家族の意向によりご自分で管理されている方もいる。外出の際ご希望があればお好きな物を購入して頂く事もある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	心配事や不安で電話をしたいという訴えが多くあるご利用者様にはご家族様に了解を得てお電話させていただく事もある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や居間には季節の飾りや写真、花を飾り季節感を感じて頂けるようにしている。またご利用者様を職員が共同で作成した物を飾り見て楽しんで頂けるよう工夫している。	廊下の数箇所にソファが配置され、休んだり集ったりすることができるよう配慮されています。また床暖房や加湿器による湿度対策も行われています。また、装飾は華美にならず、職員が知恵を出し合い適度にご利用者の作品や心を打つ良い言葉などが目線を配慮して飾られています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に何箇所かソファを配置し一人になれる空間を作っている。又、気の合ったご利用者同士で居室内で過ごして頂いたりその中で様子を見て場合によっては、職員も交えて過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様の写真や自宅から使い慣れた家具などを持ってきて頂くよう声掛けをしております。居心地よく過ごせる様配慮している。	使い慣れたラジオなどの愛着のある品物を持ち込んでもらえるようお話しし、ご利用者が居心地良く、安心して過ごせる居室になるよう配慮されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	おひとりお一人の「できること」「わかること」を見極めて安全の中で自立した生活が送れるように支援している。		